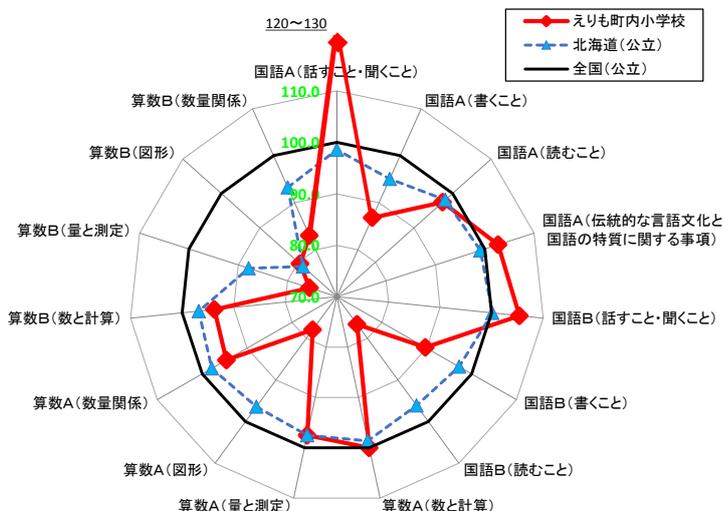


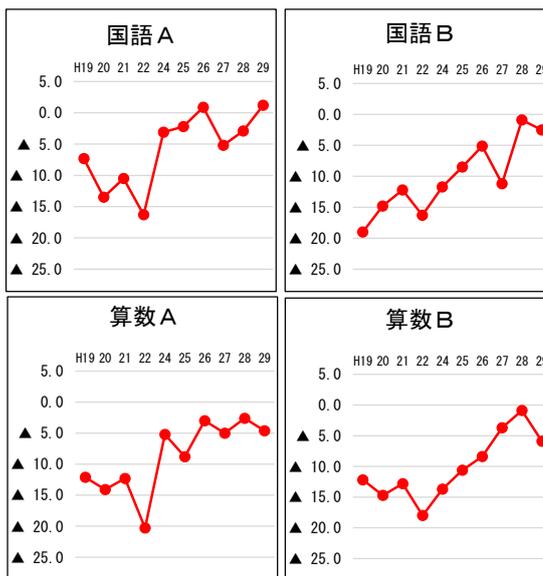
■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:38人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

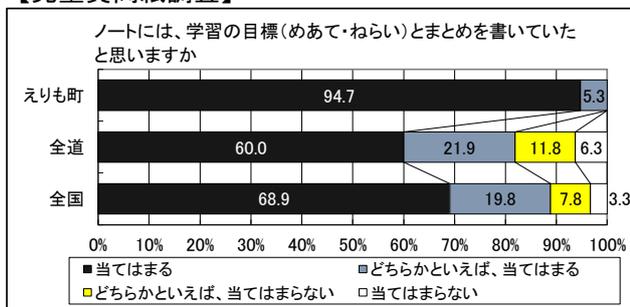


【平均正答率の全国との差の推移】

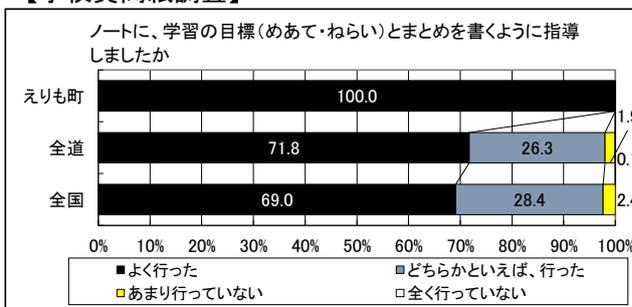


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国と同様であり、「量と測定」で全道と同様である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の学力向上策として、全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善を図ったことにより、国語Aにおいて、前年度と比較して、全国の平均正答率との差が縮まり、特に、国語Aの「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての小学校で、えりも町授業改善4つの方策を踏まえ、ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導するなど、授業改善を推進したことにより、「ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

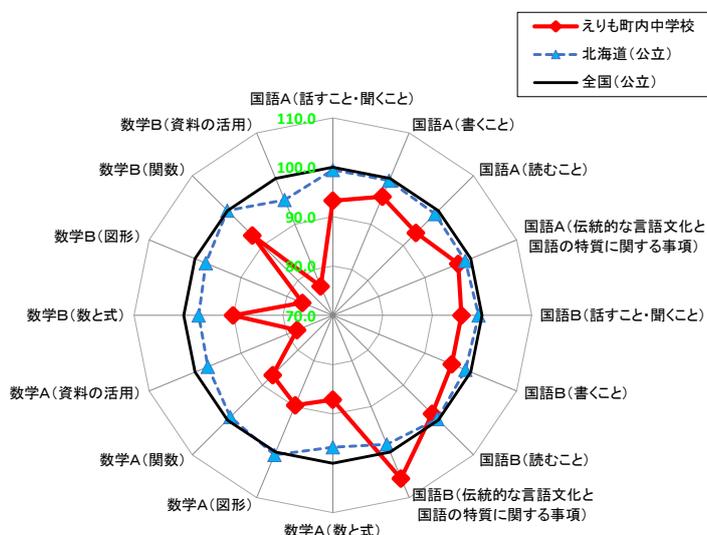
【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町授業改善4つの方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- ◎ 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- ◎ 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- ◎ 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実

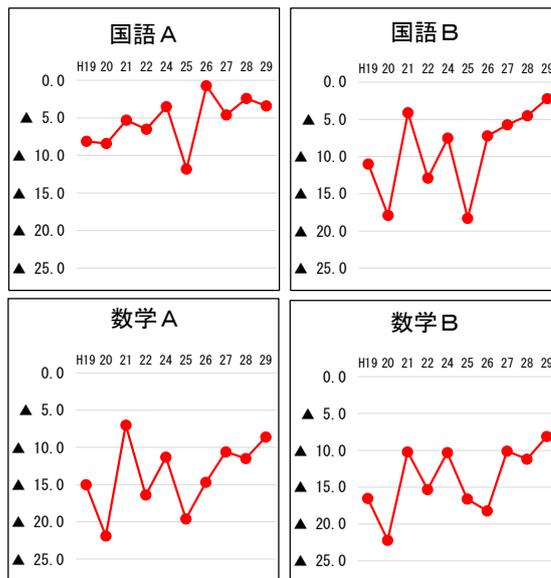
■えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:48人)

【教科全体の状況】

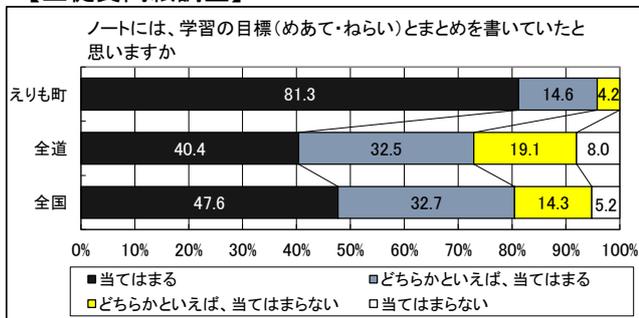
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



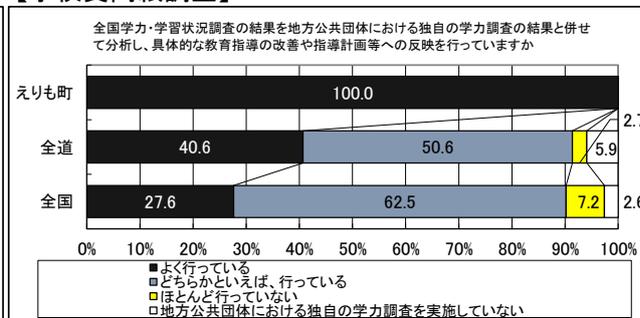
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で全道に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての中学校において、全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったことにより、国語B及び数学A・Bにおいて、全国の平均正答率との差が縮まり、特に、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。 ○ 町の学力向上策として、板書とノートの連動、まとめの位置付けなど、えりも町授業改善4つの方策に組織的に取り組んだことにより、「ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町授業改善4つの方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- ◎ 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- ◎ 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- ◎ 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実